

木造建築科実習施工課題の模擬家屋



## 大分高等技術専門学校

設置・運営 ● 大分県  
所在地 ● 大分県大分市大字下宗方1035-1  
訓練課程 ● メカトロニクス科(2年制)  
電気設備科・自動車整備科・空調配管システム科・木造建築科(1年制)  
(定員:各20名)

# 独自の合同企業説明会で 就職支援の質の向上を目指す



昨年度までの合同企業説明会の様子



今年度の合同企業説明会の様子

大分県立大分高等技術専門学校は、大分県が設置する職業能力開発校である。18歳から39歳までの高校新卒者や離転職者に対し、技術・技能の能力開発や各資格試験の取得の指導・支援を行っている。

## 合同企業説明会の開催

本校の就職支援で特徴的な取り組みは、本校独自の企画・運営による合同企業説明会の実施である。毎年8月に本校に隣接する大分職業訓練センターで行っているが、平成25年度に開催して以来毎年行われ、今年度で7回目の開催となる。

合同企業説明会を開催する以前の就職支援では、地域の職業安定所や本校に直接提出された求人票を訓練生が閲覧し、興味を持った企業に応募するという流れが多かった。しかし、この状況では企業の魅力や詳しい業務内容を知る機会が乏しいことに加え、本校の就職先の大半を占める中小企業では、人事担当者の採用活動の機会と内容が限定される事業所も多く見られていた。

## 合同企業説明会の概要

合同企業説明会のテーマは「良い人材を良い企業へ」であり、就職実績のある企業や本校に直接求人に来た企業など、各科8社、合計40社が参加する。各社30分の説明時間の中で、具体的な業務内容や社内研修制度、求める人材像に加え、採用条件などを訓練生に伝え、訓練生からの質疑応答などを行

う。

## 参加企業の声

参加した企業からは、訓練生に対し直接企業の案内ができること好評であった。さらに、インターンシップの参加や企業への見学会を提案するなど、積極的に本校の訓練生の採用に取り組み姿勢も見られた。

また、参加を重ねることで人事担当者のプレゼンテーション能力が向上し、人材紹介企業や地方自治体が主催する企業説明会に参加するようになった、という意見も聞けた。

## 訓練生の声

参加した訓練生は、「企業の採用担当者から生の声が聞けて本当に有意義だった」、「業界研究や就職先の選定に加え、昇給や残業時間など、求人票では明記されておらず、聞きづらい話も直接説明を受けることで、安心して就職できる」、「今後身につけておきたい資格やスキルなども先輩からアドバイスを受け、今後の励みとしたい」などと話していた。

## 指導員の声

合同企業説明会は、企業への参加依頼や会場準備、訓練生に対しての事前指導など、準備の負担は確かに大きい。しかし、訓練生の就職に対する意識の変化が見られたり、本校と企業との信頼関係が構築できること、修了生が説明会の担当者と共に来校すること

で、将来の目標を身近に感じられること、納得感を持って就職するので離職率も減少していること、訓練生全体で就職活動を行うので、個別指導の時間が減り、結果的に業務負担の減少につながるなど感じていること等、指導員として多くの利点がある。

## コロナ禍での対応と今後の課題

コロナ禍における今年度は、開催の是非も検討された。例年大きな会場ですべての企業および訓練生が一斉に参加していたが、今年度は科ごとに会場を分散し、検温・会場の消毒やマスクの着用を徹底することで開催した。

今後の課題は、合同企業説明会の取り組みが業界団体に広がり、参加を希望する企業が増加したことで、参加企業の選定に苦慮することがある。今後も業界団体と意見を交わし、選定条件などを可視化することで、選定の公平性に努めていく。

## まとめ

ものづくりの現場では、新型コロナウイルスの影響は限定的で、未だ人手不足の状態が続いている。本校でも入校希望者の減少が続いており、企業が望む人手不足の解消を満たせていない。合同企業説明会の取り組みは地域や業界の新聞に掲載されるなど、本校の存在と役割を求職者や高校新卒者に伝えることに役立っている。今後も訓練生の就職支援の向上に努め、業界団体の期待に応えていきたい。